

## 第40回学会大会のお知らせ

本年度は、下記のとおり第40回大会を開催いたします。

学会大会は会員の発表による情報発信・交換の場になるだけでなく、会員同士の交流を深める場でもあります。万障お繰り合わせの上、ぜひご参加ください。

1. 大会期日 2019年11月30日（土）～12月1日（日）

2. 会 場 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター  
〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-43  
TEL 03-3823-0241  
JR「上野駅」公園口より徒歩15分、JR「鶯谷駅」南口より徒歩10分

3. 大会日程

※発表の申し込み状況等により、変更になる場合があります。大会前にお送りするプログラムをご確認ください。

第1日目：11月30日（土）

11:00～ 受付  
11:20～12:10 評議員会  
12:20～13:20 全国理事会・年報編集委員会  
12:00～13:00 研究発表（展示発表）  
13:30～13:40 開会式  
13:50～15:50 生涯学習政策研究フォーラム  
「多様な学習機会の創出と生涯学習～急激な社会変化に対応する社会教育とは～」  
16:00～17:50 研究発表（自由研究部会）  
18:20～19:50 情報交換・懇親会

第2日目：12月1日（日）

9:00～ 受付  
9:20～ 9:50 総会  
10:00～11:50 研究発表（生涯学習実践事例研究部会）  
12:00～13:00 研究発表（展示発表）  
13:10～15:00 研究発表（自由研究部会）  
15:10～15:20 会長賞表彰式  
15:20～15:30 閉会式

## (1) 生涯学習政策研究フォーラム

第1日目(11月30日(土))の午後、次のテーマによる生涯学習政策研究フォーラムを開催いたします。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。

### 生涯学習政策研究フォーラム

テーマ：多様な学習機会の創出と生涯学習～急激な社会変化に対応する社会教育とは～

概要：今年のフォーラムは、第4次産業革命やSociety5.0といった未来社会を描く言葉は社会教育にどのようなインパクトをもたらすのか、幅広く意見交換を行う場とする。社会的包摂の観点から言えば、若者、現役世代、外国人、障害者など従来の方法では参加しづらい主体にどうアプローチするのか、またジェンダー平等や子どもの貧困(相対的貧困)、学習障害、引きこもり等の社会的課題をどう学習課題化するのか、さらに多文化共生社会、ダイバーシティ推進、SDGs、民間セクター、次世代育成等もキーワードとしながら、新たな時代の社会教育・生涯学習推進を議論します。

## (2) 情報交換・懇親会

第1日目(11月30日(土))の夕刻から情報交換・懇親会を行う予定です。皆様の交流のよい機会ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

## 4. 研究発表等の申し込み

研究を蓄積していくために、「自由研究部会」及び「生涯学習実践事例研究部会」で研究発表を行います。優れた研究発表をした会員には「生涯学習研究e事典」への執筆をお願いする予定です。会員の皆様の積極的な発表の申し込みをお待ちしております。

なお、『日本生涯教育学会論集』に投稿する場合は、原則として前年の大会で発表することになっております。

### (1) 研究発表の種類

#### 1) 口頭発表

##### ①自由研究部会(11月30日(土)午後、12月1日(日)午後)

(発表時間)個人発表：発表時間20分、質疑応答5分、合計25分

共同発表：発表時間15分×発表者数、質疑応答5分、但し合計60分以内

※発表時間は、発表申し込み状況により短くなる場合があります。また、申込件数や発表内容に応じて同じ時間帯に複数の部会を設定いたします。

##### ②生涯学習実践事例研究部会(12月1日(日)午前)

各地の実践事例を報告し合い、相互交流をはかる部会です。行政、民間学習機関、団体等、さまざまなところで行われている実践の当事者による発表を中心に実践研究を深めます。優れた発表には「日本生涯教育学会会長賞」が授与されます。発表時間は、発表申し込み状況により決定します。

なお、生涯学習実践事例研究部会については、常任理事会による推薦により非会員にも発表を認める場合があります。また、生涯学習実践事例研究部会での発表に申し込まれた場合でも、発表内容等を考慮して自由研究部会での発表をお願いする場合があります。

#### 2) 展示発表(11月30日(土)昼、12月1日(日)昼)

展示発表は図表や写真等を豊富に使える利点があり、意見交換もしやすいのでご活用ください。発表時間・場所は申し込み件数によって決定いたします。なお、資料の搬入・搬出は、発表者の責任で行ってください。

(2) 申し込み方法

研究発表を希望する会員は、学会ホームページより「研究発表申込書」(発表形式により様式が異なります)をダウンロードし、必要事項をご記入のうえ、電子メールに申込書を添付して [entry@j-lifelong.org](mailto:entry@j-lifelong.org)宛に送信してください。

なお、研究発表申込書に記入する「研究領域」「研究分野」コードの一覧表は、学会だよりの4頁に掲載しております。

※「研究発表申込書」は学会ホームページに掲載しています。

(3) 申し込み締切

2019年7月31日(水)

※締切日までに受信した申込書のみを受理しますので、締切日の厳守をお願いいたします。

(4) 発表要旨

研究発表を申し込まれた会員には、追って発表要旨のご執筆をお願いいたします。執筆依頼時にお知らせする締切日(10月中旬を予定)までに発表要旨をご提出ください。提出された原稿については、『発表要旨集録』の版下としてそのまま印刷し、大会時に配布いたします。締切日までに発表要旨が到着しない場合は、発表の資格を失いますのでご注意ください。

5. 資料の配布

研究発表とは別に報告書や冊子、リーフレット等の資料の配布を希望する会員は、大会運営委員会([confe@j-lifelong.org](mailto:confe@j-lifelong.org))までご連絡ください。

問合せ：日本生涯教育学会事務局 TEL 03-6824-9372

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本生涯教育学会大会運営委員会 E-mail [confe@j-lifelong.org](mailto:confe@j-lifelong.org)

(大会運営委員会 青木康太朗)

## 研究領域・研究分野コード一覧表

〔研究領域〕	〔研究分野〕
I. 生涯学習研究	1. 生涯学習理論 2. 生涯学習研究方法論 3. 生涯学習史 4. 生涯発達論 5. 生涯学習内容・方法論
II. 生涯学習支援研究	1. 生涯学習振興・推進論 2. 生涯学習支援システム論 3. 生涯学習行財政論 4. 学習情報論 5. 学習相談論 6. 生涯学習関連施設論 7. 学習機会提供論 8. 生涯学習人材論 9. 生涯学習評価論 10. 学習成果活用論 11. その他の生涯学習支援研究
III. 生涯教育研究	1. 生涯教育理論 2. 生涯教育領域論 2 1. 家庭教育論 2 2. 学校教育論 2 3. 社会教育論 2 4. 生涯スポーツ・社会体育論 2 5. 企業教育論 2 6. 遠隔教育論・放送教育論・通信教育論 3. 生涯各期の教育・学習論 3 1. 乳幼児教育・学習論 3 2. 青少年教育・学習論 3 3. 成人教育・学習論 3 4. 高齢者教育・学習論 4. 女性の生涯教育・学習論 5. 各国の生涯教育・生涯学習
IV. 総合・複合研究	1. 総合・複合研究 2. 生涯学習社会論 3. マスコミ文化論 4. 現代的課題研究
V. 実践事例研究	1. 実践事例研究

(1) 各研究発表に付されているコードは、上記の表によるものです。

(2) コードは発表申込者の申請によるものです。ただし記入のないものは委員会の判断でコードを付し、また2つ以上記入のあるものは主なもの1つのみを付してあります。

(3) 所属は原則として発表申込者の申請によるものです。